【武豊町】

1 人 1 台端末の利活用に係る計画

1. 1 人 1 台端末をはじめとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

ICT の利活用により、児童生徒一人一人の特性や、学習進度、到達度に応じて、重点的な指導や教材等を工夫することができることから、児童生徒の実態に応じた学習計画に基づく学びを目指す。

2. GIGA 第 1 期の総括

第 1 期においては、令和 2 年度に町内すべての小中学校に 1 人 1 台端末を配備し、全学校における通信ネットワーク等を整備した。学校現場における、教科や学習場面に応じた情報収集・理解・整理・発信・共有及び個々の学びのツールとして、1 人 1 台端末の日常的な利活用を図った。

授業においては、グーグルクラスルームを活用し、課題の配布等を行い、学習ドリル「タブドリ Live!」を用いた学習を行うなど、児童生徒の学習意欲の向上及び学習環境の整備に努めた。また指導用デジタル教科書も一部導入し、活用している。

自宅に通信ネットワークが整備されていない児童生徒については、モバイルルーターの貸出しを行える環境を整えた。

また、令和 6 年 4 月に実施された全国学力状況調査の学校質問紙における、ICT 関係の設問（一部抜粋）の回答から、下記の表のとりの活用状況であることが分かった。

質問	県（小） 県（中）	本町 （小）	本町 （中）
前年度に、教員が大型提示装置等（プロジェクター、電子黒板等）の ICT 機器を活用した授業を 1 クラス当たりどの程度行いましたか。（「ほぼ毎日」「週 3 日以上」を合わせた割合）	90.2% 87.3%	100%	100%
教員がコンピュータなどの ICT 機器の使い方を学ぶために必要な研修機会がありますか。（「ある」「どちらかといえば、ある」を合わせた割合）	91.5% 89.3%	100%	100%
コンピュータなどの ICT 機器の活用に関して、学校内外において十分に必要なサポートが受けられていますか。（「そう思う」	88.1% 86.1%	100%	100%

「どちらかといえば、そう思う」を合わせた割合)			
ICT を活用した校務の効率化（事務の軽減）の優良事例を十分に取り入れていますか。（「十分に取り入れている」「一部取り入れている」を合わせた割合）	98.5% 98.8%	100%	100%
調査対象学年の生徒が自分で調べる場面（ウェブブラウザによるインターネット検索等）では、生徒一人一人に配備された PC・タブレットなどの ICT 機器をどの程度使用させていますか。（「ほぼ毎日」「週3回以上」を合わせた割合）	69.6% 70.6%	75%	100%

活用状況の高いものについては、今後も継続させ、低いものについては、各校の状況を把握しつつ、高めていく。

個別最適・共同的な学びの実現については、学校間で差があることが分かる。すべての学校で差異なく、個別最適・共同的な学びが実現するよう、今後も推進していく。

3. 1人1台端末の利活用方策

令和2年度に整備した、1人1台端末は、導入から約4年が経過しており、容量やバッテリーの不足等に起因する諸問題が稀に生じており、予備機で対応している状況である。さらなる最適な ICT 環境下での教育を推進し、1人1台端末環境を引き続き維持していくため、令和8年度に予備機を含め、全児童生徒分の端末の更新を行う。

また令和7年度には、新たな授業支援クラウドを導入予定である。生徒が主体的に学び合う双方向授業を実現させ、思考力・判断力・表現力の育成、教職員の業務の負担軽減を図っていく。

学校における ICT 教育支援のため、引き続き2校あたり1名の ICT 支援員の継続的な確保も行っていく。